

げんでんつるが



今回は、敦賀発電所の状況と、地域の皆さまとのコミュニケーション活動についてお知らせいたします。

2024年3月
第59号

日本原子力発電株式会社



敦賀発電所 1号機の状況（廃止措置中）



2017年に廃止措置工事を開始し、現在は、安全最優先で第1段階の解体・撤去工事を継続しています。

《至近で解体・撤去した設備・機器例》

薬液注入装置



撤去前



撤去後

クレーン装置



撤去前



撤去後

【廃止措置工程】

第1段階 原子炉本体等解体準備期間【9年間】

第2段階 原子炉本体等解体期間【9年間】

第3段階 建屋等解体期間【6年間】

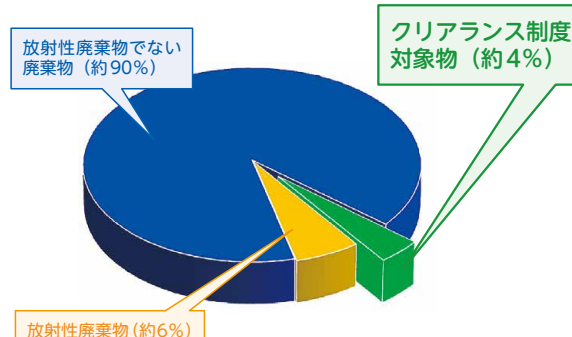
【クリアランス制度対象物の再利用について】

原子力発電所の廃止措置等により発生する撤去物には、「放射能レベルが極めて低く、人の健康に対する影響が無視できるもの*」もあり、これらは国の認可、確認を受ければ一般の廃材と同様に扱うことができますようになります。

これをクリアランス制度と呼んでいます。この制度を有効に活用することにより、撤去物の資源としての有効利用が促進され、また、再利用しないものも一般の廃棄物と同様な処理をすることが可能となります。

※年間0.01ミリシーベルトと定められており、私たちが自然放射線から受ける放射線量の1/100以下

《敦賀発電所1号機の解体廃棄物の割合》



敦賀発電所1号機の廃止措置については、現在、クリアランス制度の認可手続きを行っています。下表は、当社東海発電所のクリアランス対象物製品の再利用状況です。

【福井県内のクリアランスベンチの展示実績】

市 町	14箇所（2024.1現在）
福井市	6箇所（10脚）
鯖江市	1箇所（2脚）
敦賀市	6箇所（8脚）
美浜町	1箇所（2脚）

福井県外においても、各電力をはじめ関係箇所において86脚のクリアランスベンチが利用されているほか、鋳造品や鉄筋等に加工し、ブロックやテーブルなどに再利用されています。

県内高校生によるクリアランス理解促進活動（一例）

（福井南高等学校）
生徒たちがデザインした水仙の形をした街灯（花灯）



（福井県立敦賀工業高等学校）
生徒たちがデザインした校章のテーブル



敦賀発電所 2号機の状況

現在、第18回定期検査中です。
プラント停止中も、使用する機器は、日常の点検やパトロールにより確認を行うとともに、万が一に備えた各種訓練を定期的に行うなどの安全性向上対策に取り組んでいます。



発電所員による点検・パトロールの様子



電源確保訓練



冷却水確保訓練

安全審査（適合性確認審査）の状況

- 2023年9月22日の審査会合において、K断層の活動性から審査を行う方針が示され、その後2回の審査会合で地層の堆積年代の評価やK断層の分布及び性状等について説明しました。
- 12月14日及び15日には、原子力規制委員会による現地調査が行われました。
- 2024年2月9日の審査会合では、現地調査での結果確認とK断層の定義や特徴の評価について、根拠とともに説明すること等の指摘がありました。
- 引き続き、審査資料を充実させ、当社の見解を説明してまいります。

敦賀発電所敷地イメージ図



12月14日及び15日現地調査の状況

敦賀発電所3,4号機計画状況

敦賀発電所3,4号機は、現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理などの建設予定地維持管理を継続しているとともに、福島第一原子力発電所事故の教訓の反映や既設発電所の審査状況も踏まえて、より一層安全性、信頼性の高い発電所にするための検討を継続しています。

敦賀発電所3,4号機は、資源の乏しいわが国にとって、エネルギーの安定供給、環境保全および経済性のバランスにすぐれる原子力発電を、将来にわたって一定規模確保するために必要であり、カーボンニュートラル実現のためにもわが国にとって重要なプロジェクトです。

3,4号機建設予定地



地域に根ざした取組み

敦賀まつりをはじめ、県内の各種イベントに参加し地域の方との交流を深めているほか、当社社員が各地区の皆さまの所にお伺いして、発電所の状況などをお話する「げんでんふれあいトーク」等を行っております。

【嶺南地域での活動状況の一例】



(敦賀まつりの民謡のタベ、カーニバルパレード)



(親子のフェスティバル)

【嶺北地域での活動状況の一例】



(たけふ菊人形)



(荒波フェスタ)



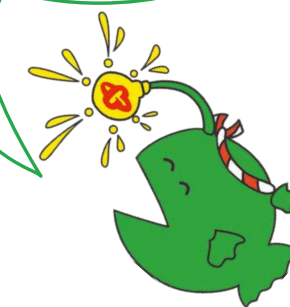
げんでんふれあいトークの様子

時 間 30分程度
人 数 少人数～30名程度
申込み 日本原子力発電株式会社敦賀事業本部
立地・地域共生部
コミュニケーション推進・報道Gr
☎ 0770(25)5713 (土・日・祝日は除く)
FAX 0770(21)9083



出前授業の様子

今後とも皆さまのご理解をいただきながら、地域とともに歩んでまいります。



訪問対話活動

地域の皆さまとのコミュニケーション活動の一環として、敦賀市内全戸を中心とした訪問対話活動を1997年(平成9年)から定期的に行っています。昨今は、コロナ禍であったことから活動規模を縮小していましたが、2023年度は4年ぶりに敦賀市内全戸を訪問し、敦賀発電所の事業運営状況等をご説明させていただきました。



訪問対話活動説明資料(イメージ)



敦賀市内区長様への訪問対話活動の様子

◆◆◆ 主なご意見等 ◆◆◆

- ・原子力は必要。安全第一でしっかりと。
- ・敦賀2号機再稼働に向けて頑張ってください。
- ・(破碎帯について)説明してもらえて、良く分かった。
- ・(敦賀2号機審査に関し)何度も間違いを起こすと信用できなくなる。
- ・古い原子力発電所の起動に反対である。福島原子力発電所と同じことになる。
- ・市民への理解活動は、難しいと思うが重要である。

など

地域からたくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。当社は、皆さまとのふれあいを大切に、全ての事業運営を安全最優先に取り組んでまいります。



日本原子力発電株式会社 敦賀事業本部 立地・地域共生部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 TEL 0770-25-5713 (土・日・祝日を除く9時～17時)

敦賀発電所に係る情報については、当社ホームページに掲載しています。(<https://www.japc.co.jp>)